

平成29年9月8日

大山町議会議長 杉谷 洋一様

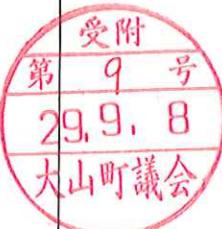
10番 大山町議会議員 近藤 大介 印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. 豪雨災害の備えについて</p> <p>本年7月の九州北部豪雨災害では、死者36人、家屋全半壊750戸と非常に大きな被害が発生した。このとき河川の氾濫があった福岡県朝倉市では、1時間の最大雨量129.5mm、24時間雨量545.5mm、72時間雨量が616mmであった。</p> <p>大山町では、近年、平成23年9月に大山で24時間雨量524mm、1週間で1000mmの豪雨があり、河川や農地などで災害が発生したが、幸い、人命が失われたり家屋に重大な被害が及ぶには至らなかった。</p> <p>しかし、大山町史によれば、明治26年には大山佐摩で1週間に1600mmも雨が降る豪雨災害があり、このときは、旧大山村で死者こそ記録されていないものの河川の氾濫により105棟の家屋が流失したり倒壊したようである。また、このときの豪雨では、福尾集落では堤が決壊し、2haの農地・山林が流失したようである。</p> <p>今後も起こりうる豪雨災害の防災・減災対応について問う。</p> <p>1) 仮に今、1週間で1600mmの豪雨が大山町であった場合、どのような被害が想定されるか。</p> <p>2) 河川の氾濫、ため池の決壊、がけ崩れなどへの備えは十分にできているか。</p> <p>3) 自主防災組織の活動や啓発活動など、町民の防災意識の状況、課題をどう認識しているか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質問事項と要旨	質問の相手
<p>2. 外国人労働者の受け入れについて</p> <p>先の議会全員協議会で、国家戦略特区の制度を利用して農業での外国人労働者の受け入れを進めるとの報告があった。</p> <p>町長、農業委員会長に考え方を問う。</p> <p>《町長》</p> <p>1) 農家はどのような形で外国人労働者を受け入れするのか。 (人選、作業研修・語学研修、雇用契約、住居、など)</p> <p>2) 受け入れ農家および大山町にとってのメリット、デメリットは。</p> <p>3) 生活習慣等、文化の違いによる摩擦、トラブルが心配されるが、円滑な運用について、行政（国県、市町村）はどのように関わっていくか。</p> <p>4) 特区申請に手上げしたとの突然の報告に戸惑っている。これまで、外国人労働者受け入れの必要性について、農家からどれくらい要望があったか。</p>	町長
<p>《農業委員会長》</p> <p>1) 外国人労働者の受け入れについて、農業委員会では従来、どのような議論があったか。町内の農業者から外国人労働者の必要性の声をどの程度聞いているか。</p> <p>2) 農業委員会として、外国人労働者の受け入れについてどのように考えているか。</p>	農業委員会長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。